

前回分科会において結論が得られた化学物質に係る症状又は障害等（案）

2, 2-ジクロロ-1, 1, 1-トリフルオロエタン（別名 HCFC-123）

- 症状又は障害
肝障害
- 追加すべき理由
国内において、職業性ばく露による肝障害の症例報告が複数あることから、症状又は障害として「肝障害」を追加することが適当と考えられる。

水酸化カルシウム

- 症状又は障害
皮膚障害、前眼部障害
- 追加すべき理由
国内において、職業性ばく露による皮膚炎や熱傷の症例報告がある。また、職業性ばく露による角膜損傷に関する症例報告があることから、症状又は障害として「皮膚障害、前眼部障害」を追加することが適当と考えられる。

（参考（平成 8 年 3 月 29 日付け基発第 181 号より））

- ・ 皮膚障害
刺激作用（感作性及び光過敏性を含む。）及び腐食作用によって生じる皮膚（爪を含む。）の障害をいい、皮膚の発赤、腫脹、発疹、潰瘍、色素異常（沈着又は脱失）等がみられる。皮膚障害を生じさせる代表的な化学物質としてはアンモニアを始めとして数多くのものがある。多くは接触性皮膚炎を示すが、クロム及びその化合物による潰瘍、砒素及びその化合物による色素異常はよく知られている。
- ・ 前眼部障害
化学物質の刺激作用によって生じる主として結膜又は角膜の障害をいい、結膜炎、角膜炎等がある。なお、酸又はアルカリが眼内に異物として侵入し、これらの物質の腐食作用によって起こる眼障害（第一号の規定が適用される。）及び化学物質の経気道吸収又は経皮吸収によって起こる視覚障害、視神経障害、色視野障害等の神経系の眼障害は含まない。

ヨウ化メチル

- 症状又は障害
中枢神経系抑制
- 追加すべき理由
職業性ばく露による症例報告が複数あることから、症状又は障害として「中枢神経系抑制」を追加することが適当と考えられる。

(参考 (平成 8 年 3 月 29 日付け基発第 181 号より))

- ・ 中枢神経系抑制
中枢神経の機能が、初期亢進から減弱・制止に至る過程及びその結果全身の知覚が鈍麻又は消失し、運動機能が抑制された状態をいう。